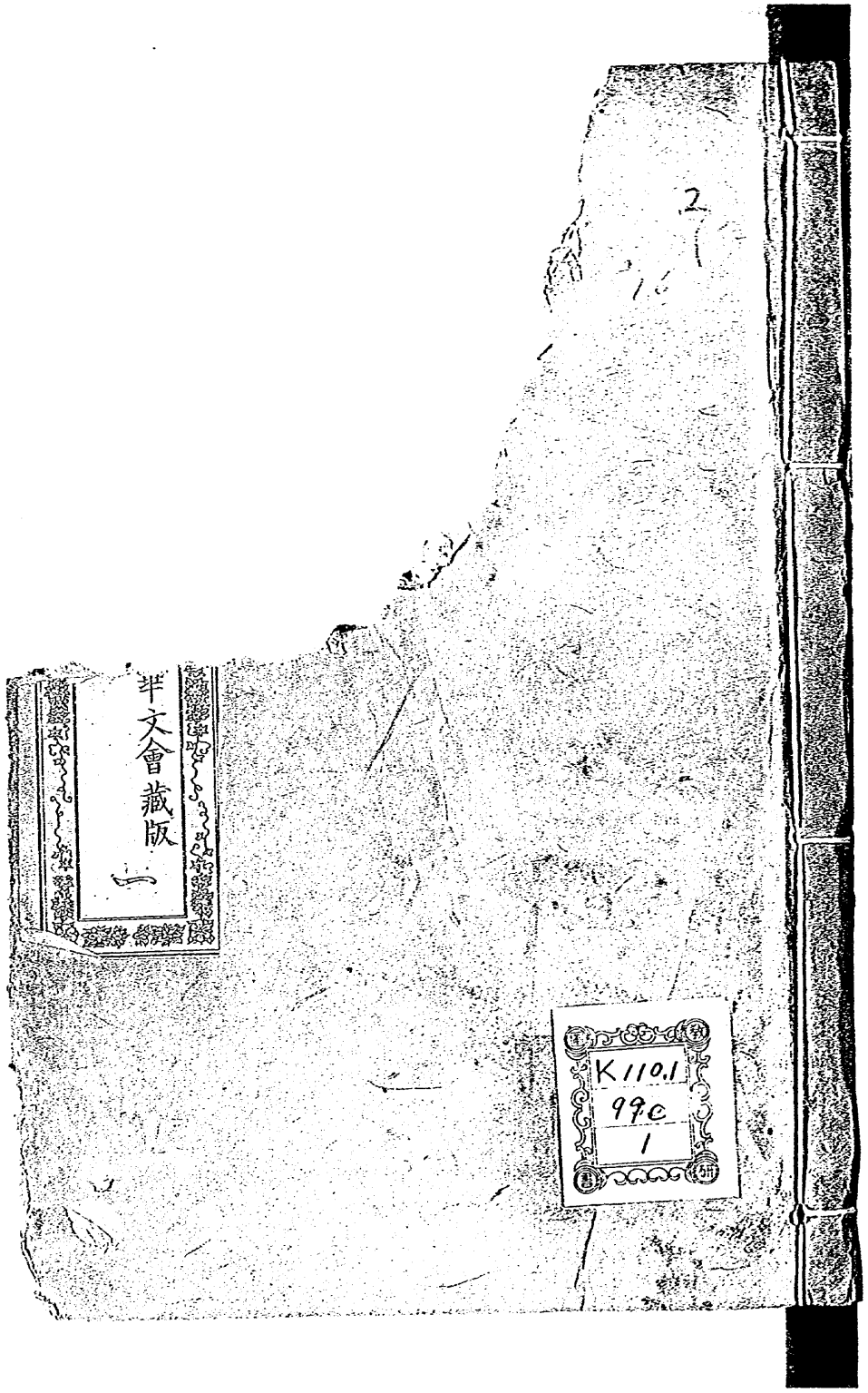


K110.1
99c

勿兒訓

編

大阪　浪華文會藏版

東京大學圖書館藏

修身兒訓序

蒙以養正。夫蒙者幼穉蒙昧。智識未開。邪正之分。惟在所養。使耳目之所言善行。而邪僻不得入其善養蒙也。余生西海之陬。好詞章。亦奔走乎功名。瞭然。閱歷已深。於是乎半世所爲。其可悔者

人少過而未能是雖緣
重習無素也昔者山崎
學貝原益軒作大和俗
書其言諄諄導人極博今
歟比二賢然僻邑之士或
將有資焉者也歟
明治庚辰冬十二月
省軒龜谷行撰

修身兒訓卷之一

龜谷行編

第一章 孝弟

○能く父母に事ふる之を孝
と謂ふ
○能く兄に事ふる之を悌と

謂ふ

○孝悌ハ身を立つるの本なり

○孝悌を行ふ所と愛敬城主とに

○愛とは人を以つくしまく

疎そうあらざる也

○敬せも人をうやまひて侮らざるまに

○己より年長ぜる者を都て敬ふべし

○己を年少き者も都て愛

を屋し

○弟と妹とい尤も愛憐をべし

○兄弟も我ゲ同胞なり

○和好して爭ふことなかれ

○父母の恩は山よりも高し

○父母乃慈愛を忘るべからぞ

○孝養を盡にを人の道なり

○孝子は天孔

恵こを受く

○父母召る時ハ速ゝ出往く

べし

○父母乃命に背べからす

○父母誡めば謹で聽く べし

○怒り恨む事と有るべ

らず

○父母疾あら

ば傍ゝ侍べ

し

○背を撫で足

を摩り怠るべ

かゝれば

○出入ハ必ず父母ニ告ぐべし

○告げずして遠く遊ぶを不可ニあり

第二章 養生

○孔子曰く父母唯其疾あるを是憂ふ

○養生を孝行の一端なり

○運動度ニ適ヘバ疾少し

○大食は脾胃を損ずるふ

○不潔を健康ニ害あり

○身體を數沐浴をべし

○住處ハ日々掃除をべし

○酒と火酒を童兒ニ害あり

○藥も苦多まども疾ハ利あり

第三章 師友

○己レガ師たる者を都て敬ふべし

○父母も吾を生み師は吾を教ふ

○師ハ事ふるを親ニ事ふるが如し

○位高くして驕る事なかれ

○長者と坐を同じくして下席に

著く事なし

○長者と路に遇ば必ず禮

揖すべし

○路を行うに長者に後る可

し

○疾行して長者に先つこと

勿れ

○善友は親しむ可し

○惡友を遠ざく可し

○朋友を欺く事なかれ

○朋友は信義を厚くすべし

○朋友を學校に於て親しむ

○學問を朋友に因て進む

第四章 學問及勉強

○學問も人の才智を益し

○學問は人乃德義を長ず

○學ばざれも草木に同じ

○學べばきを牛馬に異るらぞ

○學問は心を一途に用ゐるべし

○西諺に曰く二兎を逐ふ者

も一兎も得ず
○人を倦とも
勤む可し
○勉強は大業
孔子も勝る
○人生は勉強

不在り
○西諺に曰く勤勉は幸福の
母なり
○勤勉は忍耐に成る
○ラスキン曰く忍耐は快樂
乃根本なり

○風雪を經げきば春に遇もぞ

○西諺に曰く苦を以て樂とせきむ成功身

ふ隨ふ

○安逸に長ずる者ハ才を成し難し

○スマイルス曰ク貧苦に遇もざるハ人の不幸なり

第五章 言語

○學問をする人も言行を慎む
べし
○西諺に曰く一斤の善行を
十斤の學問に勝る
○言ふ事は易く行ふ事は難
し

○西諺に曰く拙なく行ふは
巧なる言ふに勝る
○問ふ事あれば答ふべし
○問ふ事なくば默して居し
○人を笑へば人に憎まれ
○人の議をば人に怨まる

○人を罵れば人を怒らす
○人を謗れば人より笑はる
○人の惡事は語ること勿れ
○人の善事を苟くも誹るなかれ
勿れ
○楊子雲曰く言輕けれども憂

を招く
○西諺に曰く口と財布を閉
づるに利あり
第六章 容儀 躬行
○朝を早く起き父母の安否
を伺ふべし

○必ず手洗ひ口漱ぐべし

○髪を櫛るべし乱るゝ迄からに

○面は洗ふべし垢つくべからず

○坐する時は端正なるべし

○股を開き足を伸ばすも不恭なり

○爐邊に坐せば火箸弄ぶべからず

○車上に在りても眠る事勿れ

○書籍を愛惜をべし

○書籍も汚し損ふべからざ

○硯ハ時々洗ふべし

○案は常々拂ふべし

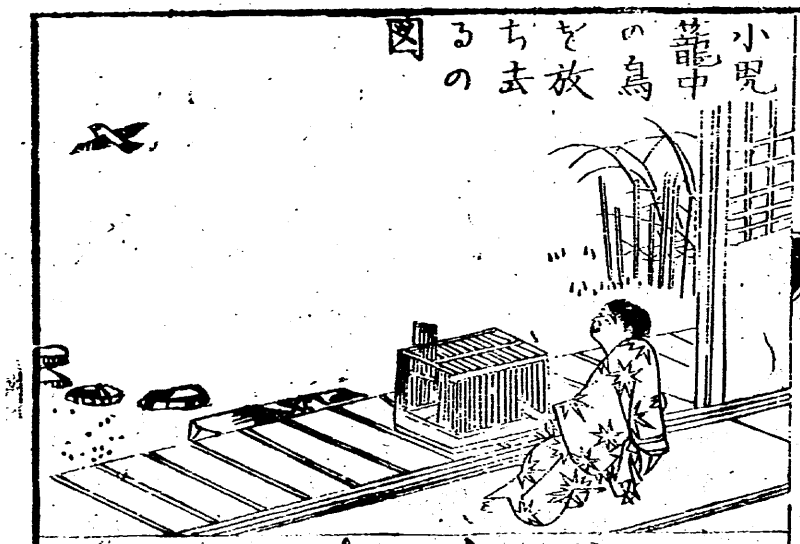
○壁ふも字を書くべからず

○席ハ墨を汚すべからず

○故なくんバ鳥獣を殺すべからず

○戯れも魚鳥を害をること毋れ

○園裏の新花を折るべからな



小兒籠中の鳥を放ち去るの図

のまを

○籠中小飛禽を養ふを休免よ

○高木小上ること勿を恐ら

を小跌うん

○深淵を窺ふこと勿を恐らくを陷らん

○契約を輕ろく為ひと勿れ

○人と約束は變ぜふこと

るゝ様

○恩徒受ても忘るべからず

○人を惠まてい念ふ勿こうらず

○飢さる者ふを飯を與ふ勿

し

○渇したる者ていい湯水を施をべし

○碁と将碁を耽るべからず

○賭博て必らず為を勿こうらむ

○人の物は決して盗むべからず

○盗竊乃辱と終身消えぬ

○人の財を羨まゞるからぞ

○己が財も費をこと勿れ

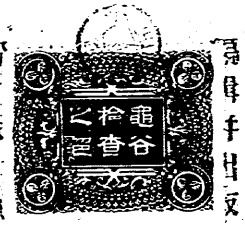
○行儀を正しく守るべし

○父母の譽を顯さん

修身兒訓巻一終

明治十三年十一月廿五日版權免許
明治十六年十月廿九日再板御屆

東京神田區金澤町十一番地
光風社長　定價金五錢五厘
龜谷行



發賣兼出版人

大阪南區北桃谷町五十七番地
浪華文會主
日柳政愬

分賣人

各地發兌所

大阪江戸堀南通五丁目　西川音三郎
同内本町貳丁目　猪三郎
同堂島中壹丁目　谷桑卯右衛門
同長堀橋壹丁目　青部武助
同名倉橋筋北久太郎町　眞澤吉兵衛
同南久寶寺町四丁目　髙井善兵衛
同博勞町四丁目　岡田茂兵衛
同唐物町貳丁目　金崎藤三郎
同村木町　木崎治郎
同安堂寺橋四丁目　鶴田寧治
河内國敷方郡吉平野　多田平堂
摂津住吉郡明神町　山口萬撰
同堺區神明町東一町　鈴木久三郎
同甲斐町東一町　北村佐吉
同熊野町東一町　以文堂
安藝廣島　林總助
河内八尾　吉田常三郎
摂津茨木　八尾元利
同島上郡芥川　堤盛
同島上郡高槻　杉山富昌
同島下郡茨町　岡田俊介
備前岡山濱田町　細川清三郎
備後三原吉津町　武内鹿蹴三郎
同福山吉津町　綱舍
廣島播磨屋町　木村治介
豐前中津　原田清三郎
大和奈良　長尾滕治
河内國吉田　梅津善太郎
高橋平三郎
松本米太郎

土佐高知本町　澤尾民藏
同高知積崎町　駒吉
摂津富田　田邊井昌成
安藝忠海　酉上澤六郎
備中倉敷　三木村濱
備後尾道土堂町　木平兵衛
同尾道西濱　三藤田平兵衛
備後府中　藤田忠兵衛
大和國奈良福寺村　岩崎庄之助
同和歌山湯殿　山川國之助
豐後府内　喜多川文三郎
紀伊田邊光明院町　吉尾藏
大和奈良　木村伊三郎
同三輪宇陀郡　松尾藏三郎
摂津東成郡中川村　眞野義助
大和郡山矢田筋　小澤於菟造
同奈良角振町　山本長平
大和郡下市　積安治郎
大和上市　荻田元米
大和櫻井　濱田邊源
伊賀名張　戸田半兵衛
備後尾ノ道　寺川拾吉
豐後竹田　芳木喜十郎
和泉堺　澤曾精三郎
大坂江戸堀北通　木村紘太郎
備前岡山　今井清次郎
同　匠藏虎
同　吉田次兵衛
森積
安部忠勝